

コンバーダブルウィールチェア コンバー3

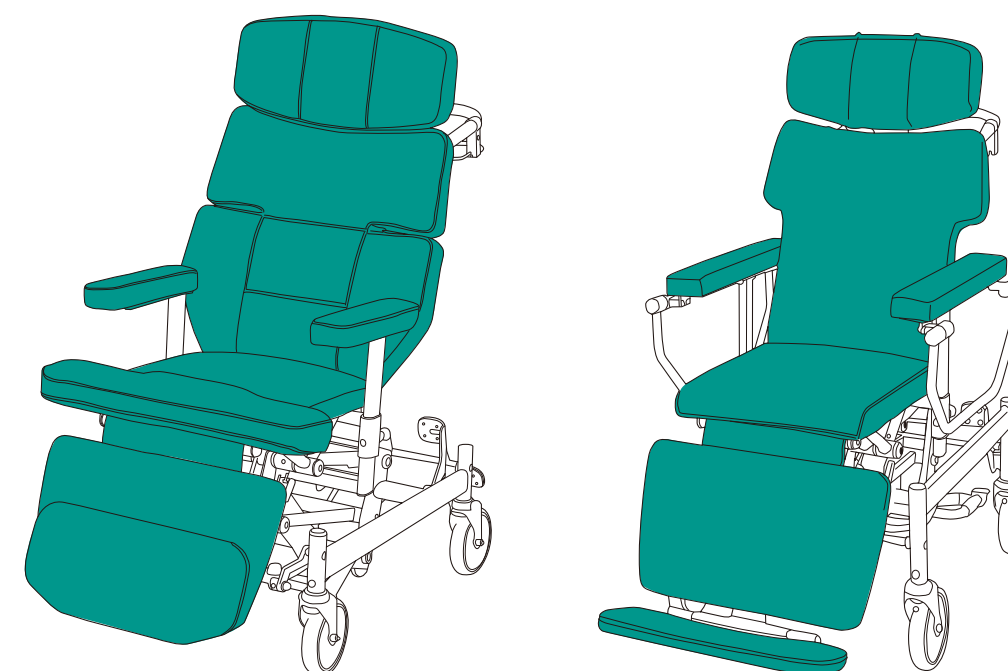
TB-071.072
TB-080.081
TB-082.083

取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、タカノ製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。

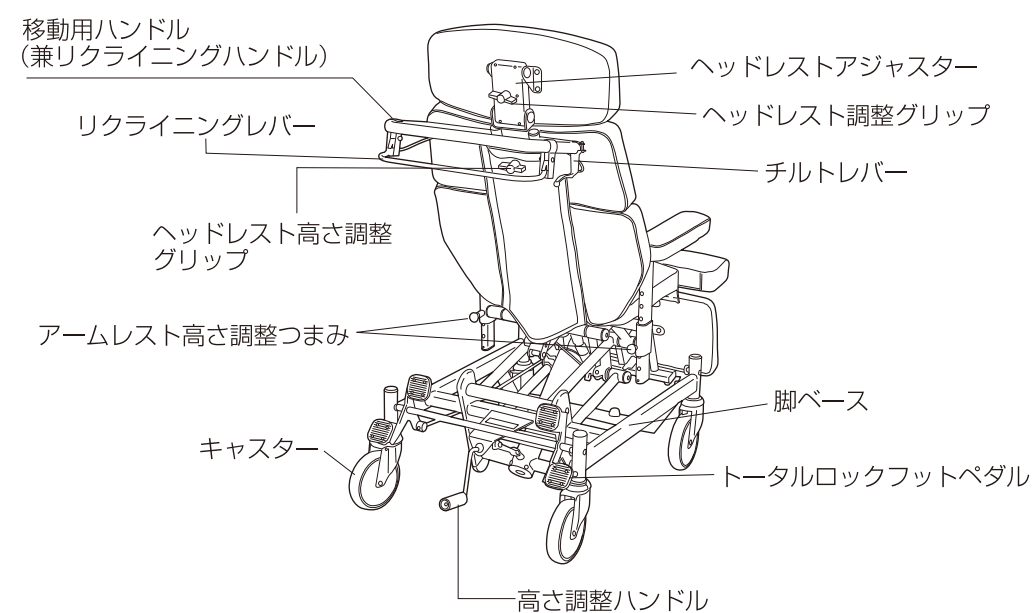
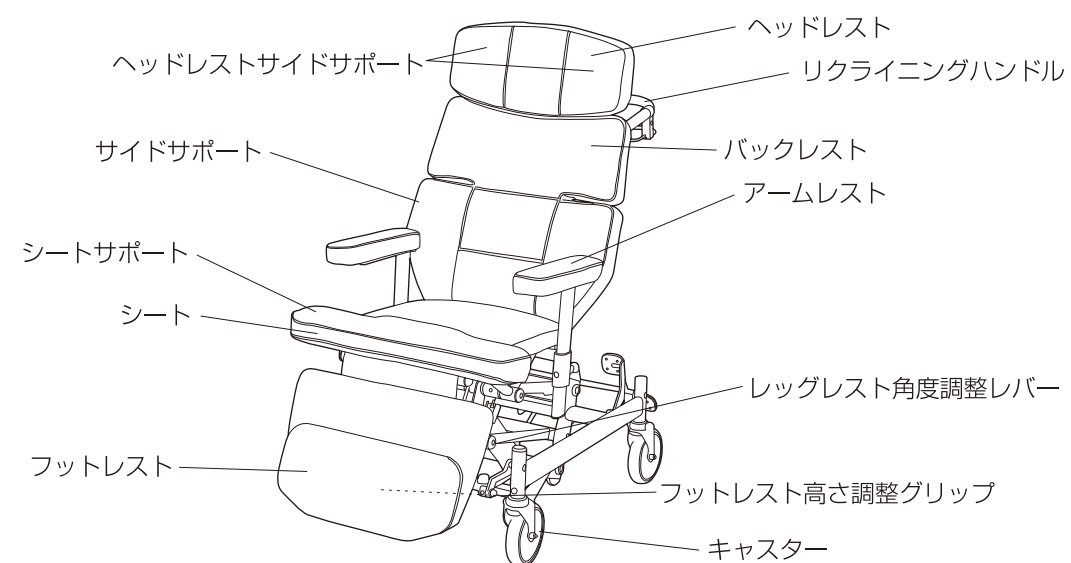
- ・この説明書にはタカノ、コンバーダブルウィールチェアを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。
- ・ご使用前に、よくお読みの上、正しく安全な取扱い方法を十分理解してからお使いください。
- ・この説明書は、いつでも出して見る事ができるよう、大切に保管してください。
- ・お求めいただきました商品の仕様、外観、価格は予告なしに変更する事があります。



	各部の名称.....	2～4ページ
1	使用上の注意事項.....	5～7ページ
2	⚠警告.....	5ページ
	⚠注意.....	6ページ
	ご使用方法.....	8～20ページ
3	・キャスター.....	8ページ
	・高さ調整機能.....	9～10ページ
	・リクライニング操作の方法.....	11～12ページ
	・フットレストの調整.....	13ページ
	・レッグレストの調整.....	14ページ
	・ヘッドレストの調整.....	15～16ページ
	・アームレストの調整.....	17ページ
	・サイドバーの調整.....	18ページ
	・サイドサポート・シートサポートの方法.....	19ページ
	・チルト機構.....	20ページ
4	移乗ボード“のせかえくん”（別売り） 看護または介護を受ける方の移乗及び移動.....	21ページ
5	お手入れの仕方.....	22ページ
6	故障かな？と思ったら.....	22ページ
7	仕様.....	23ページ
8	保証とアフターサービスについて.....	24ページ
9	保証書および無料修理について.....	25ページ

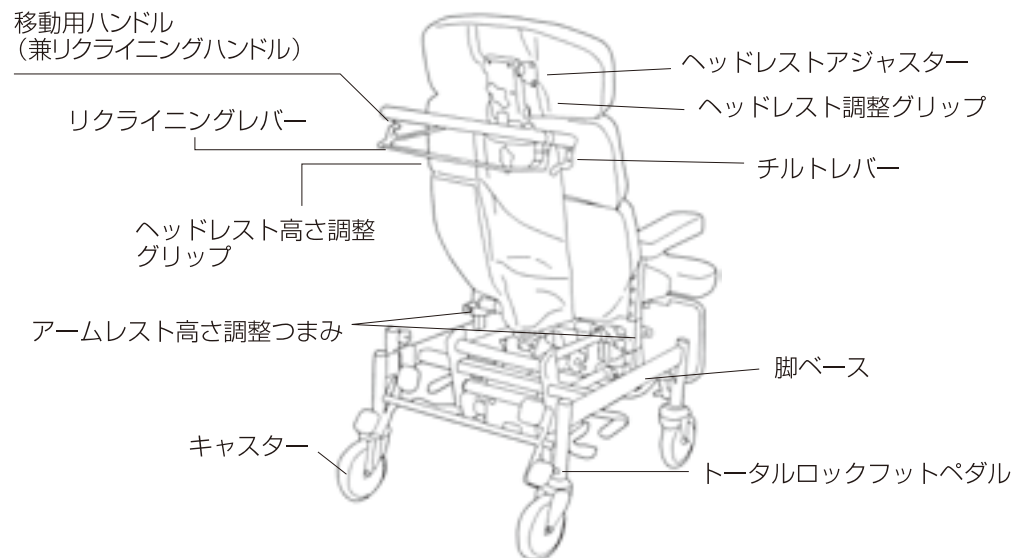
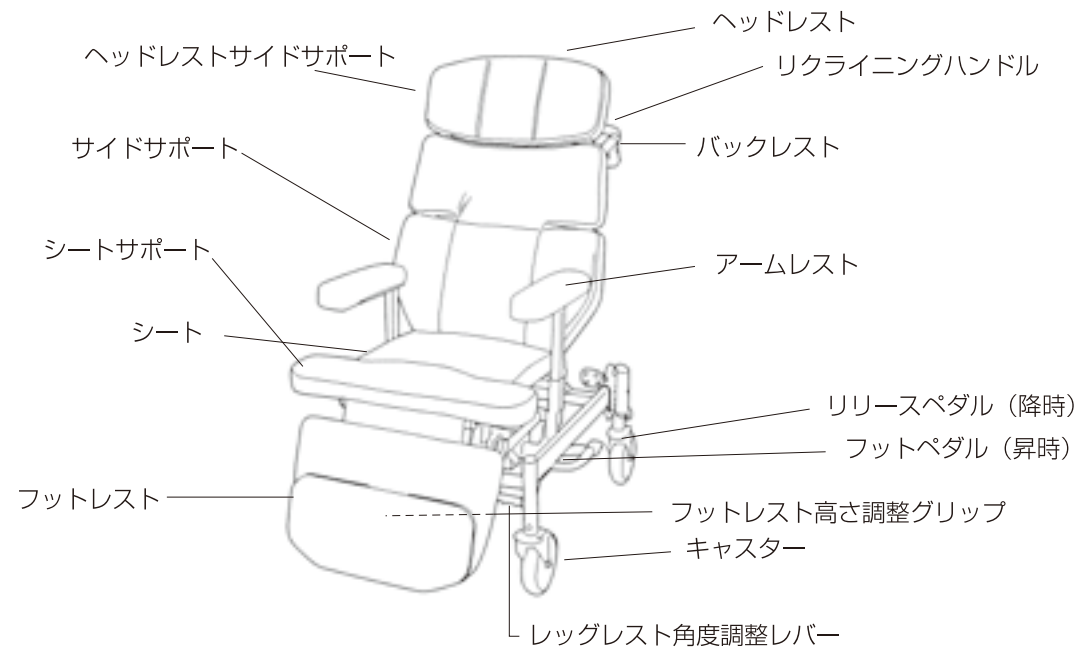
1 各部の名称

TB-071.072



8 保証とアフターサービス

TB-080.081



製品の保証について

この商品には、取扱説明書の巻末に保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げの日から1年間です。保証期間中の修理など、アフターサービスについてお問い合わせがございましたら、お買い上げの販売店またはタカノ(株)までご連絡ください。なお、修理の際は以下のことを、お伝えください。

1 お名前、お電話番号、ご住所 2 商品名、お買い上げ日(保証書をごらんください) 3 故障内容・異常の状態(できるだけ詳しくお願いします)

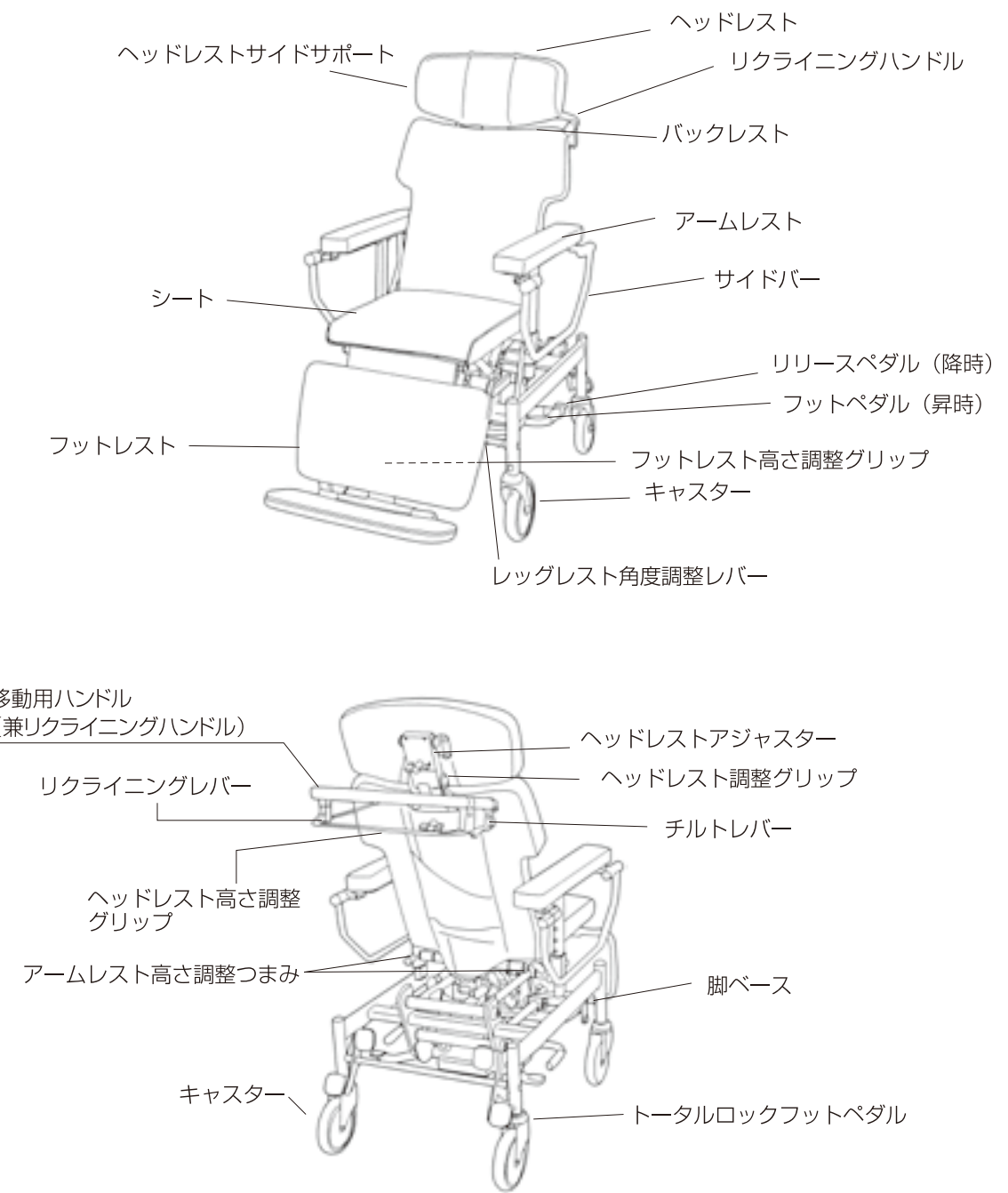
保証期間後の修理についてはお買い上げの販売店もしくはタカノ(株)にお問い合わせください。修理により、正常に使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。

タカノ株式会社 健康福祉部

オフィス 〒399-4431 長野県伊那市西春近下河原5331 TEL.0265-72-3157
FAX.0265-72-3203

品 名		コンバータブルウィールチェア コンバー3		
品 番		TB-071・TB-072	TB-080・TB-081	TB-082・TB-083
寸 法	全 高	ストレッチャー時／450～720mm:Hiタイプ450～820mm ウィールチェア時／1,130(1,400)mm:Hiタイプ1,230～1,500mm		
	奥 行 き	ストレッチャー時／1,560～1,830mm ウィールチェア時／1,200mm		
	全 幅	570mm		610mm
	最 大 負 荷	100kg		
	座 幅	400mm		
	座 奥 行 き	430mm		
	背もたれ角度	0°～75°±3°		
	チルト角度	0°～15°		
	ヘッドレスト 高さ調整範囲	180mm		
	フットレスト 高さ調整範囲	100mm		
材 質	キ ャ ス タ ー	φ150 トータルロックタイプ		
	フ レ ー ム	鋼管フレーム、アルミニウム		
	表 生 地	塩化ビニール		

TB-082.083 (サイドバー付)



2 使用上の注意事項

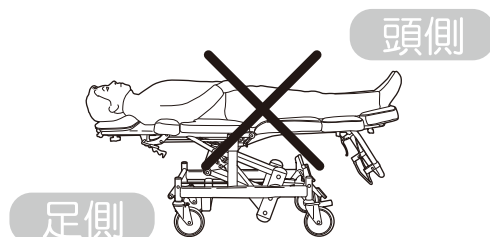
製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意があります。ここに記載した内容を無視した場合、使用者の方が重大な傷害を被る恐れがあります。
よくお読みの上、製品をご使用ください。



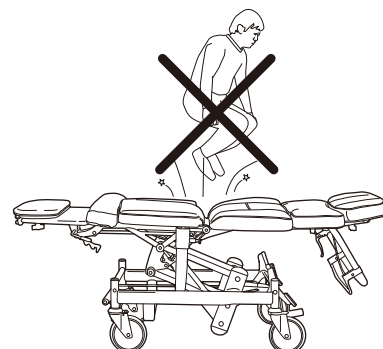
警告

取り扱いを誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。
このような使い方はしないでください。

◆移乗方向を間違わないでください。



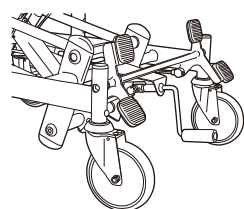
◆ストレッチャー状態（平らな状態）のクッションの上で、飛び跳ねないでください。



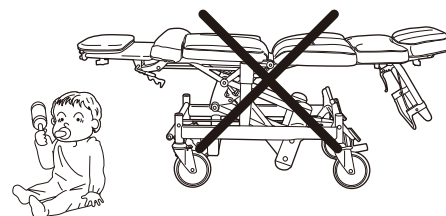
◆ストレッチャー状態、ウィールチェア状態を問わず、階段、エスカレーターでは使用しないでください。



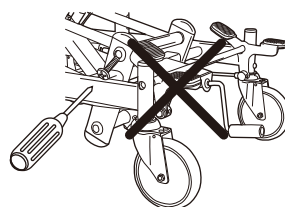
◆キャストは確実に固定してください。



◆変換操作時、ストレッチャーの下空間に、人や物が入り込んでいないか十分に確認してください。



◆分解、改造はしないでください。



5 お手入れの仕方

●点検とお手入れ

1.点検

このコンバータブル・ウィールチェアはより高い安全性とより長い耐久性を追及して作られています。ご使用になる場所や条件、または長時間のご使用などによって変化することが考えられます。定期的な点検を必ず行って、潤滑油の注入などを行ってください。

1.お手入れ

コンバータブル・ウィールチェアへの水分の付着や湿気は、さびや異音の原因になりますので避けると共に付着した場合には直ちにふき取るようにしてください。

コンバータブル・ウィールチェアの掃除について

このコンバータブル・ウィールの掃除は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って使用し、乾いた布でふき取ってください。



注意

変色・変質の原因となりますので、揮発性のもの（シンナー、ガソリン）などで絶対に拭かないでください。

6 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に以下の項目をもう一度チェックしてください。

症 状	チェック	処 置	参照ページ
◇移動できない	◇キャストロックが されている	◇キャストロックを解除する	8～10
◇まっすぐ進まない	◇キャスト操作 ペダルの位置	◇キャスト<機能3>を使う	8
◇リクライニング できない	◇ワイヤーケーブル ◇操作レバー	◇お買い求めの代理店にお問い合わせ ください	11～12
◇チルト機構が うまく作動しない	◇ワイヤーケーブル ◇操作レバー	◇お買い求めの代理店にお問い合わせ ください	20
◇ヘッドレスト・ フットレストの 固定ができない	◇調整グリップの 締め具合	◇しっかり締め直してください	14～16
◇昇降できない	◇昇降範囲の上限又は 下限まできている	◇回転方向を確認してください(TB-071) ◇ペダルを確認してください(TB-081.082)	9 10
◇中間位置でも 昇降できない	—	◇ご使用を中止しお買い求めの代理店 にご連絡ください	9



警告 昇降装置は絶対に分解等を行わないでください。圧縮バネが飛び出しけをする恐れがあります。

別売移乗ボード「のせかえくん」を使用しての移乗・移動の場合 4 看護または介護を受ける方の移乗および移動

●ベッドからコンバー3への移乗方法

手順1

寝ている方を側臥にして、移乗ボード「のせかえくん」をしきこみます



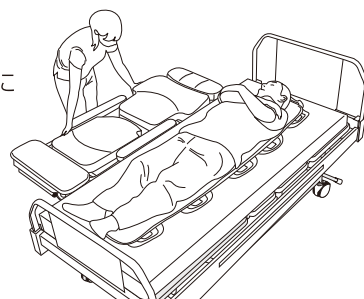
手順5

移乗後、リクライニングレバーで車いすの状態にゆっくり起こします。



手順2

コンバー3をベッドに横付けし、ベッドとコンバー3のどちらかで高さを調整し、キャスターをロックします。



手順6

ゆっくり起こします。この時アームレストとシートの上に手を挟まないように注意して下さい。



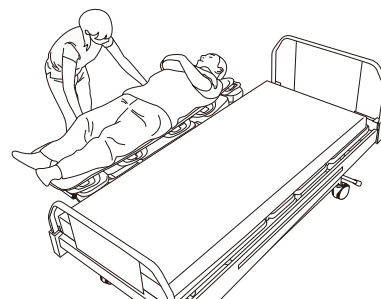
手順3

移乗ボード「のせかえくん」の取っ手を2ヶ所もちます。



手順4

取っ手をひきよせ、コンバー3の中心に移乗させて下さい。



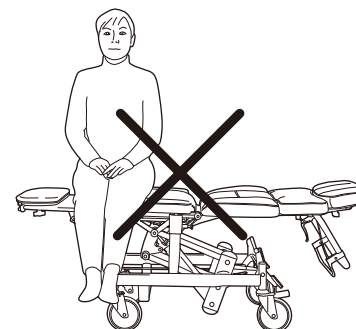
手順7

完全に起き上がりましたら、リクライニング角度、ヘッドレスト、フットレスト、アームレスト等の調整を行って下さい。

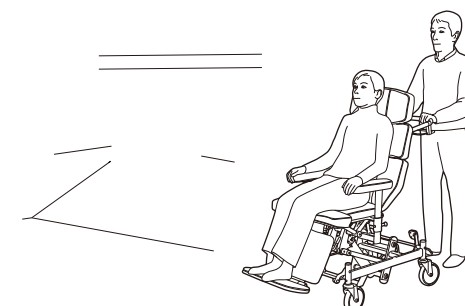


ストレッチャーからベッドへの移乗の場合は逆の手順で行ってください

◆ストレッチャー時、ヘッドレスト部およびレッグレスト部に絶対に腰掛けないでください。



◆坂道など傾斜のある場所での使用は十分に注意し、傾斜の強い坂道は必ず、後ろ向きで走行させてください。また、傾斜地での駐車は絶対にしないでください。



◆冬場の雨や雪の日など、路面が凍結し、すべる所や砂利道では使用しないでください。

◆コンバーダブルウィールチェアの最大使用体重は、100kgです。それ以上の方の使用は絶対にしないでください。

⚠ 注意

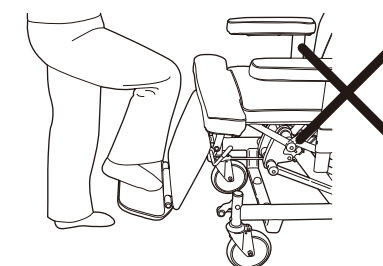
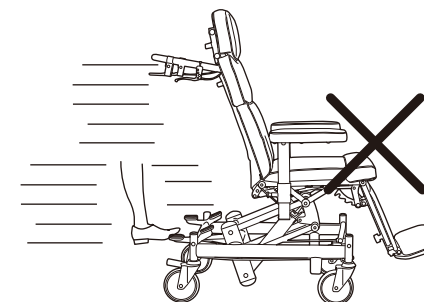
取り扱いを誤ると、傷害を負ったり故障の原因となる恐れがあります。ご使用の際にはご注意ください。

お使いになる前に、次の事を必ずご確認ください。

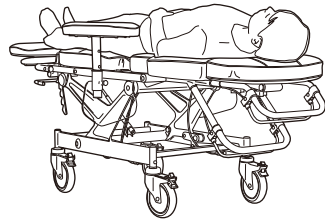
1. キャスターロックの効き具合
2. リクライニングがスムーズに行え自由な位置で止まる。
3. フットレストの高さ調整、角度、ヘッドレストの高さ、角度奥行き調整が確実に行える。
4. アームレストの高さ調整が確実に行える。
5. チルト機構がスムーズに行え、自由な位置で止まる。
6. 昇降がスムーズに行え、異音などの異常がない。
7. ヘッドレストサポート・サイドサポートの角度調整がスムーズに行える。

◆キャスターロックは、走行中のイスを停止させるための設計になっていませんので、走行中にキャスターのロック操作は行わないでください。

◆車イス状態で、イスに乗り降りする時、フットレストを踏み台として使用しないでください。



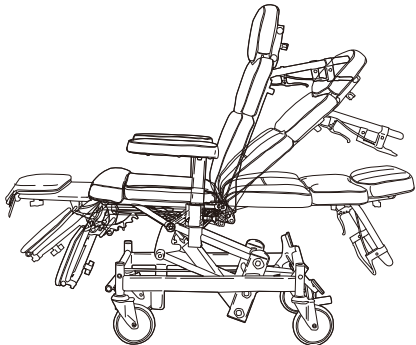
- ◆ストレッチャー状態で、人が乗っている場合は落下防止のため、必ずアームレストを上げてください。



- ◆コンバーダブルウィールチェアは一人用の設計です。二人以上の使用や、人以外の重い物を絶対に乗せないでください。



- ◆ストレッチャーからウィールチェア（車イス状態）への変換等はゆっくり行ってください。

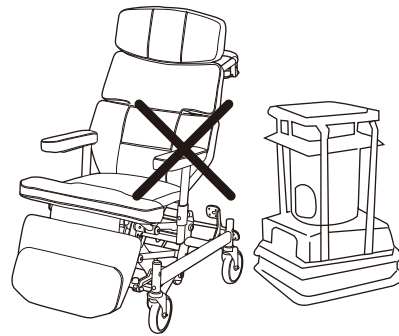


- ◆ウェイトトレーニングやリハビリ用具として設計されていないので、そのような使用はしないでください。

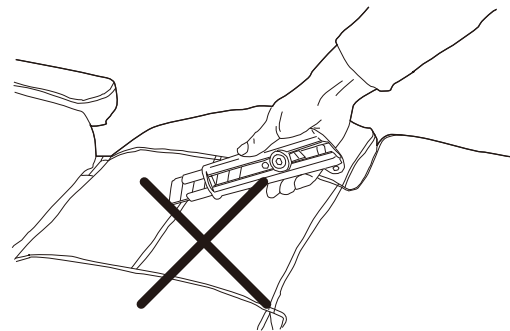
- ◆アームレストのみを持って動かさないでください。



- ◆火気（ストーブ、たばこの火等）に近づけて使用しないでください。



- ◆各部に、刃物や角張った物を当てないで下さい。



- ◆各部件の欠落、異常がある場合は使用しないでください。

- ◆専用のオプション部品以外を外付けして使用しないでください。

●チルト機構

この機能は、乗っている人の座り心地や座位の安定性を良くする為の機能です。

●チルト機構を使う

- 1 両手で移動用ハンドルとチルトレバーを図のように同時に握りながら移動用ハンドルをゆっくり下側に押しつける様になります。
- 2 好みの角度になりましたらチルトレバーから、ゆっくり手をはなしてください。作動角度は、後方に15°の範囲内で無段階に止めることができます。

⚠ 注意

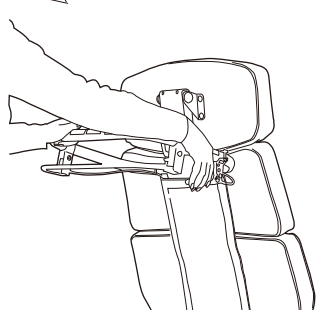
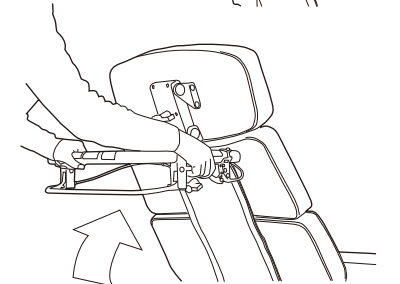
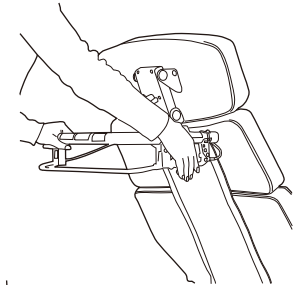
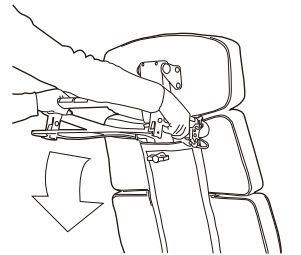
キャスターがロックされているか確認してください。ロックされていない状態で操作しようとすると、うまく操作出来ない事があります。

●チルト機構を元に戻す

- 1 両手で、移動用ハンドルとチルトレバーを、同時に握り移動用ハンドルをゆっくり止まるまで、引き上げるようにしてください。
- 2 好みの角度になりましたらチルトレバーから手を離してください。

⚠ 警告

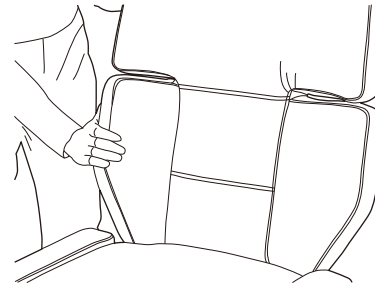
ウィールチェア状態からストレッチャー状態に戻す際、必ずチルト機構を元の状態（ウィールチェアの状態が一番起きた状態）に戻してください。チルト機構の状態だと、ストレッチャー時、頭が下がった状態になり、大変危険です。



3 ご使用方法

●サイドサポートの方法 (TB-071.072.TB-080.081のみ)

- 1 ロックペダルを確実に踏み込み、キャスターをロックし本体を止めます。
- 2 サポート部分を持ち、いすの内側に折り、任意の位置にサポートさせます。

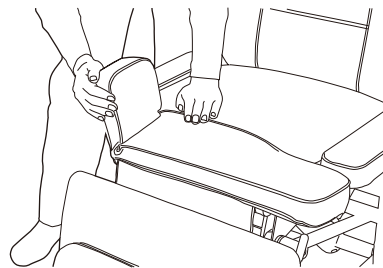


⚠ 注意

サポートの位置によっては、アームレストが上に上がらない場合があります。その場合はリクライニングで調整するか、もしくはサポートを行ってからアームレストを上げ、サポートの角度を調整してください。

●シートサポートの方法 (TB-071.072.TB-080.081のみ)

- 1 ロックペダルを確実に踏み込み、キャスターをロックし本体を止めます。
- 2 サポート部分を持ち、上方に折り曲げ、任意の位置にサポートさせます。



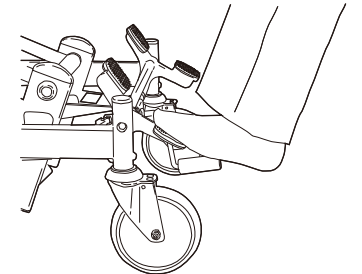
※ TB-082.083 (サイドバー付) にはこの機能はありません。

●キャスター トータルロック式

キャスターの3つの機能

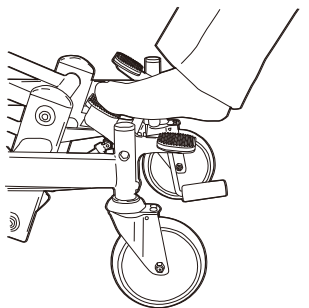
<機能1> 4輪ロック機能

フットペダルを下側一杯に踏み込むとロックします。ストレッチャーからウィールチェアへの変形時、移乗時等本体を止めたい時にご使用ください。



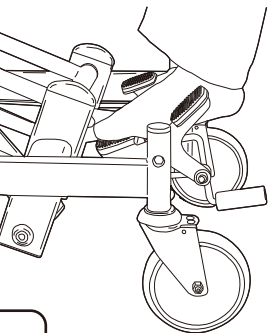
⚠ 注意

フットレバーロックは、走行中の本体を止める設計になっていないので、走行中には、フットペダルを操作しないでください。



<機能2> 4輪フリー機能

フットペダルを中間位置にすると、4輪フリー状態になります。ベッドへの横付け、小回りさせたい時にご使用ください。



<機能3> 走行制御機能

ストレッチャー状態、ウィールチェア状態を問わず、本体を走行させるときの走行安定性を上げる機能です。後輪2個のみに3つの機能があります。フットペダルを奥に踏み込み1mlほど後退または、前進させますと、後輪2輪の首振りロックされます。ロックされたことを確認し、走行を行ってください。

⚠ 注意

路面の横方向に傾斜がある場合必ずご使用ください。4輪フリーの状態ですと、本体を前に押しても傾斜方向に本体が走行し、思う方向にいきません。走行制御機能は、片方が前向き、もう一方が後ろ向きでもロックしてしまいますので、そうってしまった時は、一度、<機能2>の4輪フリー機能を使いフットペダルを自由にしてから、本体を後退または、前進させ、キャスターの向きを揃えてからロックしなおしてください。

●高さ調整機能

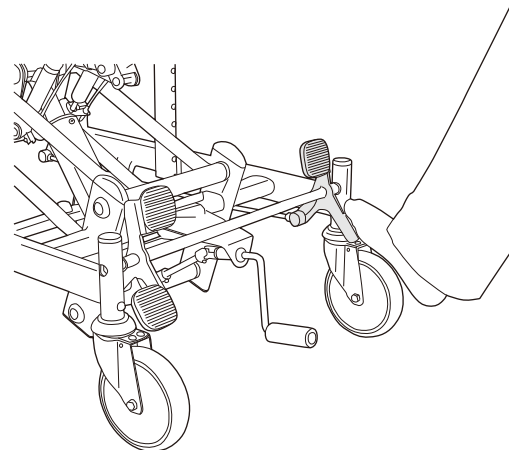
移乗の際、ベッドに合わせ高さを調整したり、テーブル等との高さ関係を調整する事が出来ます。
【TB-071（ハンドル昇降タイプ）の場合】

●高さを上げる（下げる）時

1. ロックペダルを確実に踏み込み、本体を止めます。

⚠ 警告

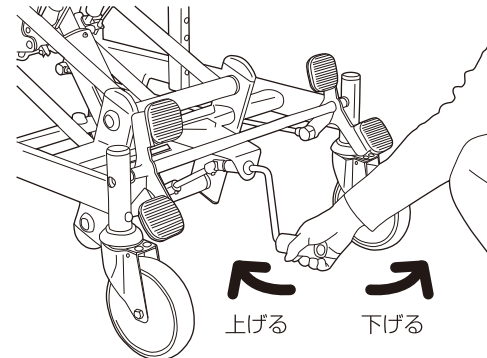
必ずキャスター（車輪）がロックしていることを確認して高さ調整を行って下さい。
ロックされていない場合、高さ調整中に動き出し、ケガや思わぬ事故になります。



2. ハンドルを持ち「上げる（下げる）」の方向へゆっくりと回します。

⚠ 注意

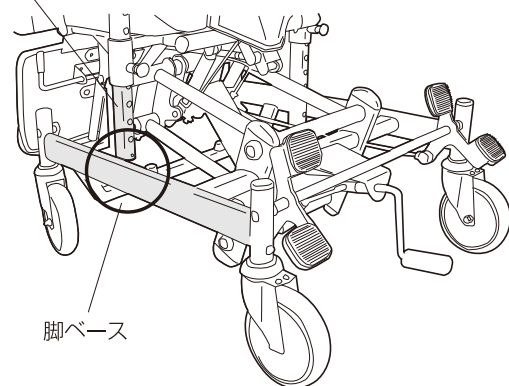
座席昇降が最高位又は最低位になった場合（ハンドルが重くなります）、絶対にそれ以上ハンドルを回し続けないでください。故障の原因となります。



アームレスト下部

⚠ 警告

昇降時に脚ベースを持たないようにしてください。アームレストの下部分が上下するので、指を挟む危険があります。
また、乗っている人の手にもご注意ください。



●サイドバーの調整 【TB-082.083（サイドバー付）のみの機能です】

ストレッチャー時：寝ている方の転落防止や運搬時等にお使いいただきます。

⚠ 注意

ストレッチャー状態の時は必ずサイドバーをあげるようにして下さい。落下すると危険です。

1. サイドバー調整つまみを引き、もう片方の手でサイドバーを上げます。



2. カチッと音がして固定される位置まで上げて下さい。

⚠ 注意

確実に上がり固定しているのを確認して下さい。



⚠ 注意

サイドバーの上に座るなどは行わないで下さい。

3. 下ろす時は、サイドバーを支えながら調整つまみを引き、サイドバーを下ろして下さい。



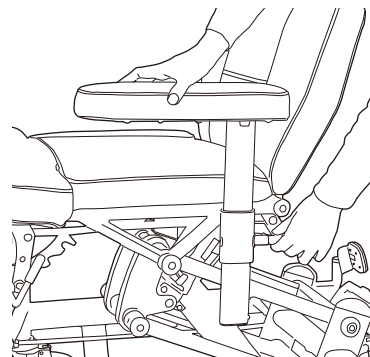
●アームレストの調整

●アームレストの機能

アームレストは、ストレッチャー状態での乗っている人の安全確保（落下防止柵）の機能と、体位保持するための2つの機能があります。使用目的に合わせて高さ調整を行って下さい。

●アームレストを上げる

片手でアームレストを弱い力で引き上げながらもう片方の手で、アームレスト高さ調節つまみを引いて高さを調整して下さい。
高さを上げるときの目安は、パイプ後方にある穴が目安です。
アームレスト高さ調節つまみの先端が穴に入って固定されますので、あらかじめ高さ調節つまみを離して引き上げますと自動的にカチッと音がして固定されます。高さは7段階で調節ができます。



●アームレストを下げる

片手でアームレストを握りもう片方の手でアームレスト高さ調節つまみを引ながらゆっくりアームレストを下げ、最後にアームレスト高さ調節つまみを戻して下さい。

【TB-080.081 TB082.083（フットペダル昇降タイプ）の場合】

●高さを上げる時

1. ロックペダルを確実に踏み込み、本体を止めます。

⚠ 注意

必ずキャスター（車輪）がロックしていることを確認して高さ調整を行って下さい。
ロックされていない場合、高さ調整中に動き出し、ケガや思わぬ事故になります。

2. フットペダル（昇時用）を好みの高さになるまで繰り返し踏んでください。

⚠ 注意

フットペダルは、ゆっくり踏んでください。強く踏むと故障の原因になります。



●高さを下げる時

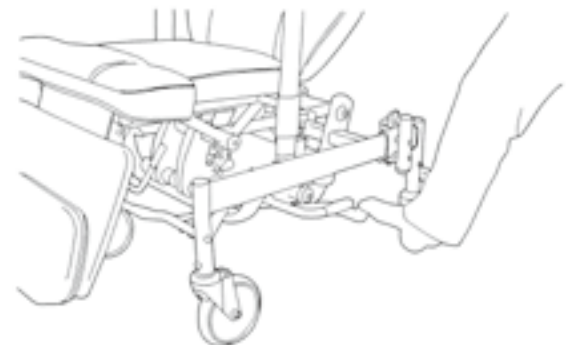
1. ロックペダルを確実に踏み込み、本体を止めます。

2. リリースペダル（降時用）をゆっくり踏み込みます。

（踏み込み量が多いほど降下速度は速くなります。降下速度は人が乗った時に合わせて調整してあります。人が乗っていない時は座の部分を押上げてください。）

⚠ 警告

リリースペダルは、ゆっくりと踏んでください。強く踏むと、急に下がり、思わぬ事故になる恐れがあります。



●リクライニング操作の方法

⚠ 警告

操作前に必ずキャスター（車輪）がロックしている事を確認してください。リクライニング中に動き出し、けがや思わぬ事故の原因となります。

⚠ 注意

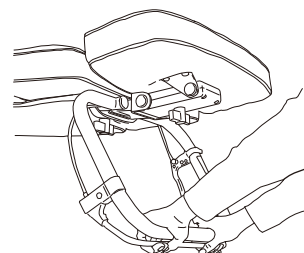
すべての操作は、事前に乗っている人に声をかけて、ゆっくり行ってください。

●ストレッチャーから車椅子に変換する時

- 1 両手でリクライニングハンドルとリクライニングレバーを図のように同時に握りながらゆっくり上側に持ち上げてください。

⚠ 警告

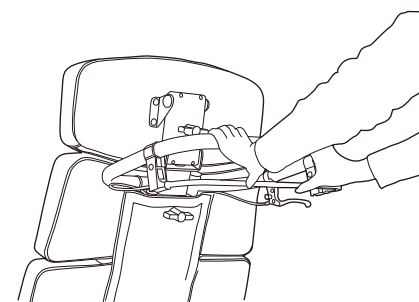
操作は必ず両手で行ってください！



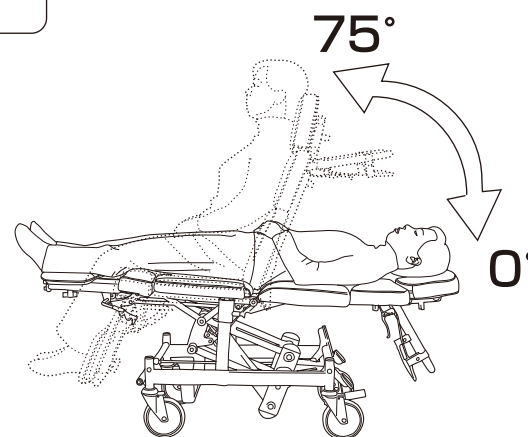
- 2 止めたい位置で、リクライニングレバーから手をはなします。

⚠ 注意

レバーをはじくように、はなさないでください。故障の原因になります。



- 3 0°（水平状態）から背もたれ角度約75°の間で、任意の角度で止まります。

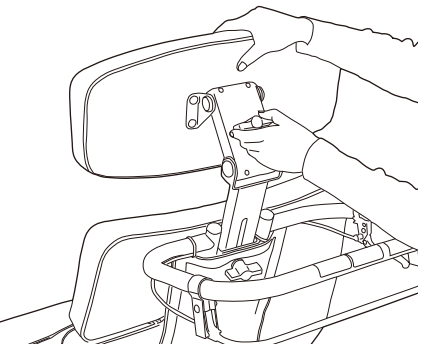


●奥行き及び角度調節

片手でヘッドレストを押さえ、もう片方の手でヘッドレスト調整グリップをゆるめます。ヘッドレストを前方に押し出す様にながら位置を調整します。

*ヘッドレストアジャスターは、奥行きと角度の双方を一度に調整できます。ヘッドレストの位置が設定出来たらヘッドレスト調整グリップを強く締めてください。

*奥行きと角度の調整は高さ方向の調整を併用して乗っている人の体型に合わせて下さい。



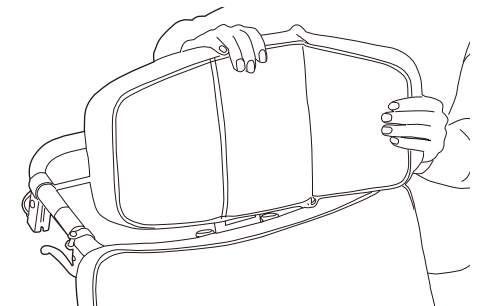
⚠ 注意

ヘッドレスト調整グリップを締めるまでヘッドレストを押さえた手は離さないで下さい。

●ヘッドレストサイドサポートの調整

片手でヘッドレストの中心部を押さえ、片方ずつゆっくりいすの前方向に押し出すように折り曲げて下さい。

元の位置に戻すときは、ヘッドレストの中心部を押さえ左右片方ずつゆっくりいすの後方に引くように戻して下さい。



●奥行き及び角度調節を元の位置にもどす場合

ヘッドレストサポートを元の平らな状態に戻します。片手でヘッドレストを押さえもう一方の手でヘッドレスト調整グリップをゆるめます。ヘッドレストをゆっくり後方に持ち上げるようにして元の位置に戻します。

ヘッドレストが元の位置にもどりましたらヘッドレスト調整グリップを強く締めて下さい。

⚠ 注意

ヘッドレストの奥行きと角度を調整し、更に高さ方向を最低位に調整した場合、ヘッドレストを少し上げてから奥行き角度調整を元の位置に戻し最後に高さを元の位置（最低位）に戻して下さい。

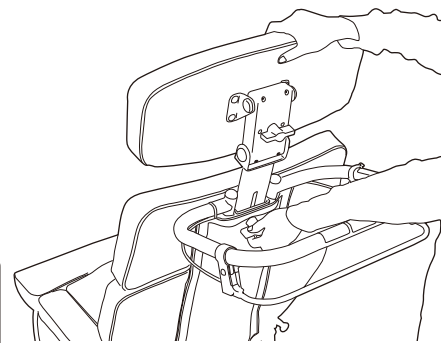
⚠ 警告

ヘッドレストはいす状態からストレッチャーに変換する前に必ず一番低い位置に戻して下さい。移乗の際、頭部がバックレストとヘッドレストの間に落ち込み、けがや思わぬ事故の原因になります。

●ヘッドレストの調整および取りはずし

●高さの上下調整

ヘッドレスト本体を持ち、片方の手で、ヘッドレスト高さ調整グリップをゆるめ、ゆっくり引き上げ（下げ）て下さい。高さが決まりましたらグリップを強く締めて下さい。



⚠ 注意

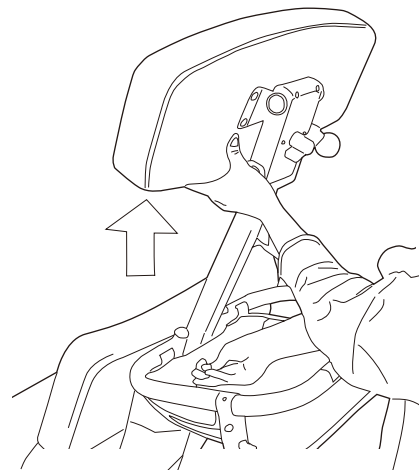
上下操作は必ずヘッドレストを支えて行って下さい。また、グリップを締めるまで、ヘッドレストを持った手は離さないで下さい。

●ヘッドレストの取りはずし

ヘッドレスト本体を持ち、片方の手でヘッドレスト高さ調整グリップをゆるめます。ヘッドレスト本体をゆっくり引き上げ、止まる位置まできたら、さらにグリップをゆるめ、グリップを押しながら、そのままヘッドレストを上引き上げると、取りはずすことができます。

*ヘッドレストを元に戻す時は、高さ調整グリップがしっかりとゆるんでいることを確認して下さい。

*ヘッドレストを元に戻した時には、高さ調整グリップを締めて下さい。

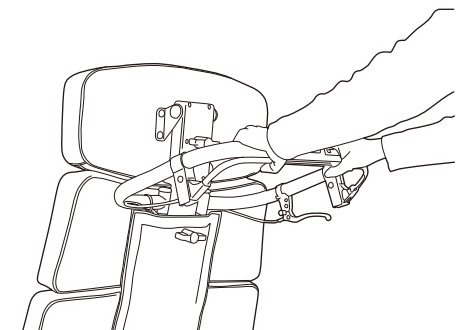


●車椅子からストレッチャーに変換する時

⚠ 警告

操作前に必ずチルト機構を元の位置に戻してください。イスからストレッチャーに変換する際、チルト機構が戻っていない（頭下がり状態になります）とわかったら、ただちに操作を中止し、一度椅子の状態にもどし、チルト機構を戻してからストレッチャー状態に変形させてください。介護される方がすべり落ちる等、けがや思わぬ事故の原因になります。

- 1 両手でリクライニングハンドルとリクライニングレバーを図のように同時に握りながらリクライニングハンドルをゆっくり下側に押しつける様にします。



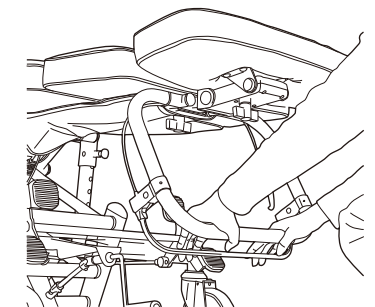
⚠ 警告

操作は必ず両手で行ってください！

- 2 止めたい位置で、リクライニングレバーから手をはなします。

⚠ 注意

レバーをはじくように、はなさないでください。故障の原因になります。



●フットレストの調整

乗っている人の体格に応じてフットレストの高さを調整する事が出来ます。

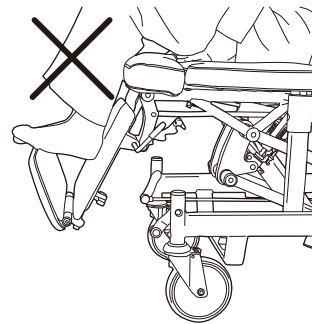
(梱包時、フットレストは一番縮んだ状態で梱包されています。)

●フットレストの使用状態

フットレストは、ストレッチャーにした時の0° と、足置き状態で使用する90° の2種類の使用方法しかありません。

⚠ 警告

フットレストは0° と90° の中間点で絶対に使用しないでください。急にフットレストがたたまったり、起きあがったりして、けがや思わぬ事故の原因になります。

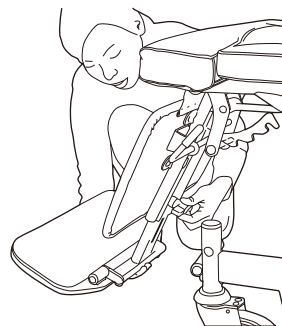


●フットレストの高さ調整

片手でフットレスト側を下側から支え、もう一方の手でフットレスト高さ調整グリップをゆるめ、ゆっくり押し上げて（下げて）ください。高さが決まりましたらグリップを強く締めてください。

⚠ 警告

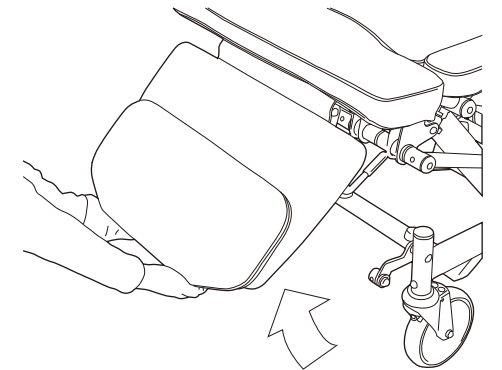
上下操作は必ず両手で行ってください。けがや思わぬ事故の原因になります。



●レッグレストの角度調整

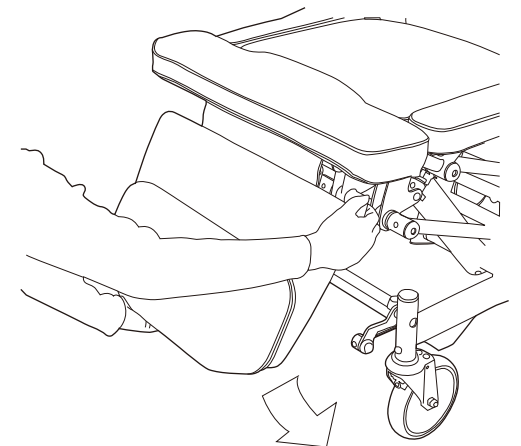
●角度の調節上げる時

両手でフットレスト先端部を下側から支えそのままカチッと音がするまでゆっくり引き上げて下さい。4段階の調整が出来ます。



●角度の調節下げる時

片手でフットレストを支え、少しフットレストを持ち上げながら、もう片方の手でレッグレスト角度調整レバーを握り、ゆっくり下げて下さい。



⚠ 警告

角度操作は必ず片手でフットレストを支えた状態で行ってください。レバーのみ操作しますと、急激な角度変化により、乗っている方に不安を与えたり、思わぬ事故や故障の原因となります。